

大会名称: 平成22年度北信越高等学校体育大会バスケットボール競技会
兼 第49回北信越高等学校バスケットボール選手権大会

開催場所: 松本市総合体育館

試合区分: No. C4 男子 三位決定戦 コミッショナー:

期 日: 平成22年6月20日(日) 主審: 山内 正隆

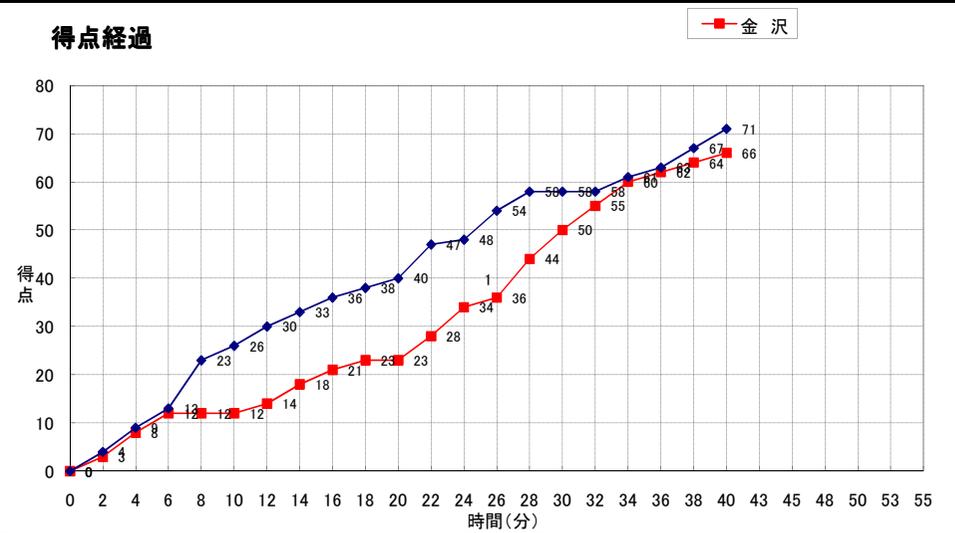
開始時間: 14:00 副審: 濱住 知明

終了時間: 15:20

新潟商業					○ 71					● 66					金 沢				
(新潟1位)															(石川1位)				
					26 -1st- 12														
					14 -2nd- 11														
					18 -3rd- 27														
					13 -4th- 16														
					-OT1-														
					-OT2-														
					-OT3-														
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F				
4	*	岩淵俊紀	8	1	2	1	2	4	*	傳見祐太	6	0	2	2	2				
5	*	小林裕太郎	19	0	9	1	3	5	*	北川元気	24	3	5	5	3				
6		安保睦	6	0	3	0	4	6		中川凌太	12	0	3	6	0				
7		村越俊紀	-	-	-	-	-	7	*	宇波孝敏	10	0	4	2	2				
8	*	鶴巻拓哉	23	4	5	1	2	8		八田直樹	0	0	0	0	1				
9	*	田宮開	8	0	1	6	4	9		表美和翔	-	-	-	-	-				
10		飛田野悠弥	-	-	-	-	-	10		北川英豊	-	-	-	-	-				
11		石山雅人	-	-	-	-	-	11		本江兼捷	-	-	-	-	-				
12		黒崎海斗	3	1	0	0	2	12		北野恵介	0	0	0	0	0				
13		神田佑成	-	-	-	-	-	13	*	清水祐志	0	0	0	0	2				
14		笹川練也	-	-	-	-	-	14	*	松田雄磨	14	2	3	2	1				
15		江部大樹	-	-	-	-	-	15		安井公司	-	-	-	-	-				
16	*	小川健太	4	0	2	0	1	16		東健太	-	-	-	-	-				
17		笠原一生	-	-	-	-	-	17		砂原淳輝	-	-	-	-	-				
18		伊藤賢人	-	-	-	-	-	18		西田悠太郎	-	-	-	-	-				
19								19											
20								20											
21								21											
22								22											
23								23											
HC		中屋廣昭						HC		大館慶徳									
		合計	71	6	22	9	18			合計	66	5	17	17	11				

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル

得点経過



ゲームレポート

1P 金沢ボールでゲームスタート。新潟商業はオールコートマンツーマンディフェンス、金沢はハーフコートマンツーマンディフェンス。金沢のファウルが多く、新潟商業がフリースローを確実に決めていく。金沢は#5の3pやジャンプシュートで対抗するも、新潟商業#5のゴール下シュートで確実にリードを広げていく。残り2分金沢は最初のタイムアウトを取り3-2ゾーンにかえるが、新潟商業は#8の3pなどでリードをさらに広げ、26-12で終了。

2P 残り7分金沢は2度目のタイムアウトを取り、新潟商業#8に対し#4をフェイスガードさせボックスワンに切り替える。これでリズムが変わりロースコアの展開となった。40-23新潟商業リードで前半終了。

3P 金沢はボックスワンと3-2ゾーンを巧みに織り交ぜながら、新潟商業のオフェンスリズムを崩し、トランジションの速い展開から得点を重ねていく。新潟商業のファウルが多くなり、金沢はフリースローを確実に決めていき、8点差まで詰め寄り終了。

4P 金沢は3-2ゾーンと2-3ゾーンを巧みに切り替えながら#4#14の連続得点で4点差に詰め寄る。新潟商業は#6のファウル後タイムアウト、金沢#6フリースロー1本決めて3点差。新潟商業#4の3pでリードを広げるが、金沢#5の連続ゴール、#7のシュートでついに逆転。しかし、新潟商業も#9#5のシュートで再逆転。残り3分、新潟商業#9が4回目のファウルで#12と交代。金沢#5のシュートで1点差に詰め寄るが、新潟商業は#6#5のインサイドで確実に得点し差を広げる。残り1分、金沢#14のバスケットカウントで3点差とするが、新潟商業#5のシュートが決まり逃げ切った。

担当者: 竹村 幸樹(中信高等学校体育連盟)

北信越高等学校体育連盟